

笹山直規+釣崎清隆 展覧会「IMPACT」



この度、高円寺にあります素人の乱12号店「ナオナカムラ」では、笹山直規+釣崎清隆による展覧会「IMPACT」を開催いたします。

今展覧会では、ネット上に溢れる死体画像から美を追求し描きおこす死体画家の笹山直規と、世界の最前線で死体から美をきり撮る死体写真家の釣崎清隆の2人による女性の死体にフォーカスした作品を発表します。

根源である命の誕生とその終わりに対して強まるレギュレーションとタブー視される今の日本で、あえて「女性の死体」というモチーフで美術の本質を問いた다는ことは、本来必然的なことなのではないでしょうか。

笹山直規と釣崎清隆による待望の2人展をこの機会にどうぞご覧ください。

【開催概要】

展覧会名： 笹山直規+釣崎清隆 展覧会「IMPACT」

会期： 2015年12月13日(日)~12月20日(日)

会場： 素人の乱12号店「ナオ ナカムラ」
東京都杉並区高円寺北3-8-12 フデノビル2F

開場時間： 13:00~20:00(会期中無休)

入場料： 無料

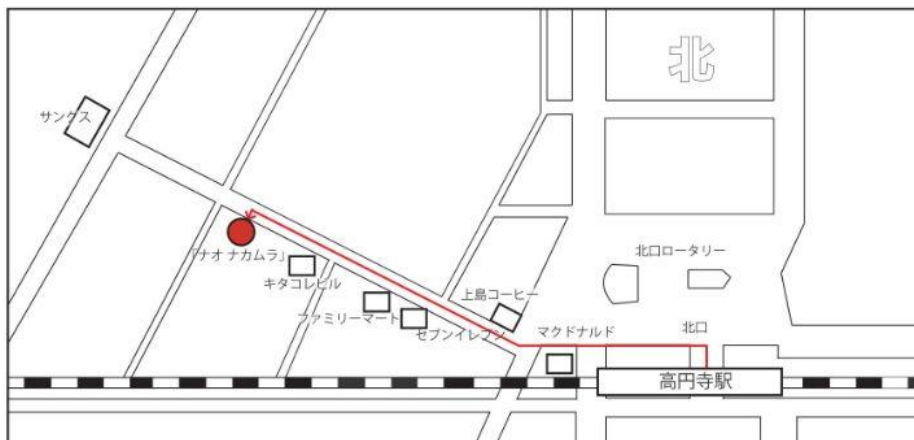
作家： 笹山直規、釣崎清隆

イベント： オープニングレセプション 13日(日)18:00~

お問い合わせ： nakamuranao19900715@gmail.com

080-4347-1887 (展覧会担当:中村奈央)

ウェブサイト： <http://naonakamura.blogspot.jp/>



高円寺駅北口より徒歩7分

この度、高円寺にあります素人の乱12号店「ナオナカムラ」では、笹山直規＋釣崎清隆展覧会「IMPACT」を開催いたします。

今展覧会では、ネット上に溢れる死体画像から美を追求し描きおこす死体画家の笹山直規と、世界の最前線で死体から美をきり撮る死体写真家の釣崎清隆の2人による女性の死体にフォーカスした作品を発表します。ヴィーナスともされる女性の肉体はエロスとタナトスに寄り添う究極の美の象徴であり、死体になりバラバラになろうとも美しい風景として存在します。

笹山直規は、1981年生まれ。2004年より事故現場をメインテーマに、2005年に死刑囚の最後の食事を描いたシリーズなど事故や死刑囚、死体といった生と死をテーマに自作の水彩絵具で絵画を制作しています。

釣崎清隆は、1966年生まれ。1994年よりタイやコロンビア、メキシコなど世界各国の犯罪現場や紛争地域でこれまでに1000体以上の死体を撮影するとともに、映像作家や文筆家としても活躍しています。

惨事が広がる危険な場において死体と対話する行為は現実と真摯に向き合う儀式であり、一方でそれらは美術の本質を追求し回帰することにもリンクします。根源である命の誕生とその終わりに対して強まるレギュレーションとタブー視される今の日本で、あえて「女性の死体」というモチーフで美術の本質を問いたずことは、本来必然的なことなのではないでしょうか。

笹山直規と釣崎清隆による待望の2人展をこの機会にどうぞご覧ください。

ディレクター 中村奈央

「女性の死体」をテーマに死体写真家、釣崎清隆氏との2人展をナオナカムラで開催致します。

世界の美術史に於いて、女性の肉体は美の極地とされてきました。ルネサンス期にはテンペラ画やフレスコ画よりも、さらに女性の肌の輝きを忠実に表現するために油彩絵具が開発されました。女性の肉体(裸体)が至極のモチーフとして、今日まで様々な絵画、彫刻、建築物などに登場しています。

私はインターネット上に氾濫する死体画像を蒐集し、絵を描いています。交通事故の現場で女性の肉体は、まるで人形のように関節が逆に曲がり、日常を超越した不可思議な格好をしています。絵画(アート)とは言い換えれば「ポーズ(構図)」の歴史であると私は解釈していますが、事故で偶然生まれた死のポージングに、今日的な新しい美の可能性を見出しました。

釣崎氏は、己の身の危険も顧みず世界中の犯罪現場、紛争地域などに出向き、芸術のために孤軍奮闘している稀有なアーティストです。目も当てられぬ凄惨な現場から美を抽出するスタンスは、私自身の指針ともなっております。

そんな極北の表現を追求する両者の作品を通じて「芸術とはなにか？美とはなにか？」を問いなおす機会になればと考えております。

笹山直規

笹山直規(Naoki Sasayama)

1981年滋賀県生まれ。2005年大阪芸術大学を卒業。2004年より事故現場をメインテーマに、2005年に死刑囚の最後の食事を描いたシリーズ「The Last Meal」など事故や死刑囚、死体といった生と死をテーマに自作の水彩絵具で絵画を制作。



釣崎清隆 (Tsurisaki Kiyotaka)

1966年富山県生まれ。慶應義塾大学文学部を卒業後、AV監督を経て、1994年よりタイやコロンビア、メキシコなど世界各国の犯罪現場や紛争地域でこれまでに1000体以上の死体を撮影するとともに、映像作家や文筆家としても活躍。



【関連イベント】

『進捗ナイト』【出張版】死体忘年会2015

日時： 12月14日(月) 19:30～(開場18:30～)
会場： 高円寺「Pundit」東京都杉並区高円寺北3-8-12
出演： 釣崎清隆(死体写真家)、ケロッピー前田(身体改造ジャーナリスト)
ゲスト： 笹山直規(死体画家)
司会： 福田光睦(モダンフリークスTV)
料金： 2,000(1,800)円
※()内は前売り料金。飲食代別
ご予約： <http://pundit.jp/>
主催： Modern Freaks Inc.

Modern Freaks Inc. Presents

進捗 *Night*【出張版】

『死体忘年会 2015』

12月14日(月)19時30分～ (18時30分開場)

モダンフリークスTVで放送中の“東京地下放送”、“ハードコア鼎談”プログラム『進捗ナイト』が久々のイベント枠で開催！1990年代から日本のハードコアシーンを牽引してきた死体カメラマン釣崎清隆&身体改造ジャーナリスト・ケロッピー前田を迎え、この世の知られざる【進捗】報告を行なう地獄のトークセッション『進捗ナイト』。死体写真、身体改造、果てはゴキブリ喰い……その他余所では知り得ないハードコア限定な鼎談トークショーを、今回は高円寺のギャラリー「ナオナカムラ」で当日開催中の釣崎清隆&笹山直規『IMPACT』展に合わせての出張拡大版でお届けします。

【出演】

死体写真家・釣崎清隆

身体改造ジャーナリスト・ケロッピー前田

【ゲスト】死体画家・笹山直規

【司会】最底辺編集業・福田光睦(モダンフリークスTV)

入場料金=1,800円(前売り) / 2,000円(当日)※飲食代別

会場・予約・お問い合わせ=

東京「高円寺バンディット」東京都杉並区高円寺北3-8-12 フデノビル2階 (JR高円寺駅徒歩5分)

tel.090-2588-9905 (担当:奥野) / URL=<http://pundit.jp/>

チケットメール予約=product.modernfreaks@gmail.com (上記会場ウェブサイトでも受付)

主催=Modern Freaks Inc.

*しん・ちよく【進捗/進捗】- [名] (スル) 物事がはかどること。「工事の—状況」「仕事が一—する」 / 『大辞泉』より